



2025 年 8 月 6 日

各 位

上場会社名 株式会社東陽テクニカ
代表者名 代表取締役社長 高野 俊也
(コード番号 8151 東証プライム)
問合せ先責任者 取締役 松井 俊明
(TEL 03-3279-0771)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月 6 日開催の取締役会において、昨年 11 月 13 日に公表した 2025 年 9 月期（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 33,000	百万円 2,400	百万円 2,400	百万円 1,750	円 銭 81.27
今回修正予想（B）	32,000	1,500	1,500	800	37.13
増 減 額（B－A）	△1,000	△900	△900	△950	
増 減 率（％）	△3.0	△37.5	△37.5	△54.3	
（参考）前期実績 （2024 年 9 月期）	35,042	3,366	3,375	2,522	112.95

2. 修正の理由

当期においては、先進モビリティ事業で下期に売上を予定していた複数の海外大型案件の計上が、いずれも納入先となる顧客の建屋および設備工事の遅れにより、来期にずれることとなりました。その結果、売上高においては、その他の事業が伸長したものの、当該案件による減少分をカバーすることはできず、当初予想を下回る見込みとなりました。営業利益においては、当該案件が計上されないことによる減収影響や、防衛関連の一過性コストの影響による売上総利益率の低下などもあり、当初予想を大きく下回る見込みとなりました。これに伴い、経常利益も同様に下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益においては、事業会社ごとの利益構成の変化によって連結実効税率が法定実効税率より高くなることから、さらに大きく下回る見込みとなり、業績予想数値をそれぞれ修正いたしました。

なお、上記複数の大型案件の収益は来期の業績に大きく貢献するものであり、事業は引き続き好調に推移しております。

また、配当予想については2024年11月13日に公表した金額から変更なく、年間配当金は1株当たり1円増配の69円としております。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上